

テーマ：『 人工池のビオトープ化による子供たちの自然と触れ合う機会と興味関心の拡充』

宇都宮市立 峰小学校

Tel. 028-633-3973 担当者 手塚 正道

写真①一般河川生き物調査隊



写真②誘導路設置



写真③COD測定の勉強会



写真④人工池生き物調査隊



■**実践内容**：本校は、市街地に近く自然が豊富とは言えない環境にある。子どもたちは生き物には興味関心はあるが実際に触れ合う機会がない。また、水のきれいさと水に住む生き物の生態系の関係には知識はあるものの探求する心までは育っていない。本校の中庭に人工池があることを活用し、ビオトープ化すると同時に水の浄化を工夫して生き物が棲みやすい環境を作る活動にした。また、水のきれいさの指標であるCODやBODの勉強会を実施し一般河川の水質調査と生き物調査を行い、生態系の実体験も計画した。さらにはビオトープ化した人工池の浄化の効果を同様にCODやBODで実測し、実際の生き物が棲めることまで実体験させることで科学する心を育てることにした。

■**実践成果**：①簡易COD測定の勉強会を実施し、水のきれいさを数値で認識できるようになり、人工池や河川の水及び味噌汁やコーヒーなどを測定することにより生活排水が如何に河川や池を汚すかが理解できた。また、活性炭などで浄化すると水がきれいになることがデータで理解できた。②水のきれいさと生き物の生態系を実際に里山に行き調査することで生きた知識となって身に付いた。③ビオトープ化した池や河川で実際の生き物を手にすることで興味関心を飛躍的に高めることができた。

■**実践ポイント**：教師や保護者・地域の協力者が計画立案をし、実際に考えたり行動するところを子どもたちに任せること。また、途中でまとめをさせ、発表させたり、気づきを共有することが実践のポイントだが、まだ活動半ばであり、継続して取り組んでいく。